

オーセンティックなリスニングから 大学入試を意識したライティング活動へ発展

[東京都立八王子東高等学校] ■ 山村 貴之 先生

CNN Workbook Extended Course 2019

学年 高校3年

投入授業 選択授業 英語会話

目的

✓ オーセンティックな英語の速さとアクセントに慣れる

学習の流れ

週2回 50分授業

STEP 1 ナチュラル音声を2回聴き、聴こえたものをメモする

STEP 2 ペアでメモしたものをシェアし、もう一度聴く

STEP 3 **Comprehension check** を解く

STEP 4 ポキャブラリーを確認し、その場で覚える

STEP 5 もう一度ナチュラルスピードを聴いて **Comprehension check** を解きなおす

STEP 6 ペアで答えを確認

STEP 7 穴あきディクテーション

STEP 8 先生オリジナルのサイトラシートで音読 / またはオーバーラッピング

STEP 9 **Expression** の問題をライティングする

STEP 10 Step 9 でライティングしたものをもとにペアでスピーキング

大学入試ライティング問題に取り組む

STEP 11 議論型のチャートを作成
↓
ミニディベート
↓
ライティング活動

生徒の反応：

初めはオーセンティックな英語に触れる機会があまりなかったのが難しそうにしていた。教科書に載っていないような語彙や固有名詞があり戸惑う場面もあったが、語彙を確認した後にニュースを聴くと、ナチュラル音声でも内容をだいたいつかんでいる。

先生からのコメント：

1つのニュースがちょうどいい長さで、授業内で何度も聴くことができる。また、アメリカ英語だけに偏らず、様々なアクセントの英語を聴けるところが良い。トピックによってミニディベートから大学入試のライティング問題

までつなげている。書くためにはまずインプットが必要なので、ニュースから知識を得た後にライティングをするとうスムーズに書き始められる。



実践例

● 東京都立八王子東高等学校